



連携室便り



発行日：平成23年7月
取手北相馬保健医療センター
医師会病院
—医療連携室便り—
—第23号—

成夏の候、貴院におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。いつも先生方には大変お世話になっております。

医療連携室では、連携室便りを通して先生方へ当院の情報を提供させていただきたいと考えております。

今後も当院をご利用して頂けますよう宜しくお願いいたします。



ごあいさつ

病棟再開いたしました。

昨年来医師退職、院内感染症の発生等により急性期病棟1棟を閉鎖していましたが、6月1日をもちまして全病棟再開棟となりましたのでお知らせします。当初4月に予定しておりましたが、東日本大震災の発生によりさらに遅れてしまい、先生方には御迷惑おかけしてしまったことお詫び申し上げます。新規体制としまして、東3病棟は従来通り外科、整形外科の手術例を主体とし、東4棟は内科病棟。南3病棟は、循環器・緩和ケア・内科／整形外科軽症例の混合病棟。南4棟は従来通り療養型病棟となります。まだフルオープンには至りませんが、先生方の御依頼に沿えるスムーズな入院体制になりましたので宜しくお願い申し上げます。

また、7月よりGE社製64列マルチスライスCTが稼働開始となります。

この度の導入にご理解を頂きました医師会員の皆様、ご支援を賜りました理事の先生に熱く感謝いたします。



従来の4列CTと比して鮮明な画像というだけでなく、coronary CT、注腸検査に代わる colonography、virtual scopy などが可能となります。共同利用施設ととして是非当院を御利用下さい。

院長 鈴木 武樹